

船上シンポジウム「自然災害にも活用できる練習船の機能」

平成17年2月15日

医療ネットワーク

鎌江伊三夫、柳沢振一郎、井上弘樹

協力者 蔡立、伊東秀崇



神戸大学都市安全研究センター
都市安全医学

広域災害・救急医療情報システム

目的

- ・人的被害、救援に関する情報を迅速かつ正確に把握
- ・関係諸機関(医療機関、消防、医師会、保健所 等)のネットワーク化

を通して、災害医療情報の収集・提供を実現する

広域災害・救急医療情報システム

背景

- 平成7年度 厚生省健康政策調査研究事業での緊急提言
- 平成10年度 インターネット利用による機能拡張
(総合経済対策事業)
- 平成14年度 システム強化、バックアップの東西2センター設置
(構造改革特別要求予算)

阪神大震災後の緊急提言

- 防災会議等への医療専門家も参加
- 広域災害緊急医療情報システムを構築
- 全国の災害拠点病院を指定
- 地域保健所の災害対応機能を強化
- 地域に根差した防災システムを確立
- 病院の災害救急マニュアルを整備
- 消防と医療関係者の連携を強化
- トリアージタグの標準化
- 遺体検死システムの整備

広域災害・救急医療情報システム

概要

- ・各都道府県システム共通のバックアップ化
- ・災害医療情報公開による災害医療支援
(ポータルサイトの役割)
- ・24時間利用可のWeb方式
- ・東西2センターによる信頼性・冗長性

求められる機能(1)(一般市民向け)

- ・災害救急医療に関わる一般向け各種情報の提供
(Topics&News、医療機関情報検索)
- ・災害医療に関わる固定コンテンツ・コラムの提供
(コンテンツ、災害救急コラム)
- ・災害医療全般についてのリンク集
(災害ライブラリ、災害救急リンク集)

求められる機能(2)(関係者共通)

- ・災害医療情報(要請情報、支援情報)の入力、照会、集計
- ・災害救急に関わる関係者向け各種情報の登録・提供
- ・医療機関情報の提供
- ・災害時における速報
- ・情報共有化機能(メーリングリスト、メールマガジン、電子会議室)
- ・機関情報の管理機能
- ・システム運用状態の切替
- ・災害時における通知、連絡などの配信機能
(ログインのための機関コード、パスワードが必要)

災害情報サービス

- ・ 例 NTTドコモ (2004年4月より)
 - iモードベースのサービス
 - 災害時の音声案内

平成17年度防災対策の重点(案) のポイント

1. 地域の防災拠点となる公共施設及び住宅等の耐震化
2. 防災情報伝達体制の整備
3. 災害応急体制の整備
4. 戦略的・計画的な防災情報システムの整備
5. 防災関連施設の整備
6. 地域や企業の防災力向上と国際防災協力の推進
7. 三宅島への帰島支援及び災害からの復旧・復興と被災者支援

防災情報伝達体制の整備

- 災害情報の提供
- 災害通信ネットワークの整備・高度化

災害応急体制の整備

- 治療や患者搬送のための医師等の派遣体制の構築
- 総合的な危機管理体制の強化

防災情報システム等の整備

- ITを用いた情報システム等の防災科学技術の研究開発の促進
- 総合防災情報システムの整備
 - 防災情報の共有プラットフォーム、ポータルサイト等の構築

地域や企業の防災力の向上及び国際防災協力の推進

- 基幹的広域防災拠点の整備
- 防災関係機関と住民等との災害情報の共有化を図る
- 広域海上輸送網を確保する国際海上コンテナターミナルの耐震強化、整備
- ライフラインの減災強化

e-Japan戦略

- 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT戦略本部)
 - e-Japan戦略 (2001年1月)
 - e-Japan戦略 (2003年7月)
 - e-Japan重点計画2003(2003年8月)
 - e-Japan重点計画2004(2004年6月)
 - e-Japan戦略 加速化パッケージ(2004年2月)
- ◇ 加速化5分野(アジア国際戦略、セキュリティ、コンテンツ、IT 規制改革、電子政府)
- ◇ 先導的7分野(医療、食、生活、中小企業金融、知、就労・労働、行政サービス)

…さらに

◇ 科学的根拠に基づく医療(Evidence-based Medicine)の情報戦略のための電子ライブラリー

- コクランライブラリー
- Up - to - date
- Medline など

◇ 情報セキュリティー対策
個人情報保護法 (2003年5月成立)